



# 一九六〇年代 ポスター展

—カウンターカルチャーの時代—

**ACTION**



7月28日 (金)

—10月9日 (月)

10:00-17:00 金曜～月曜のみ営業

**山鬼文庫** 入場無料

金沢市桜町5-27 tel.076-254-6596

<http://www.sankibunko.com/>





新宿駅西口広場 1969



《ACTION》 1968

1960年代、戦後日本の経済成長は留まるところを知らず、街や暮らしは急速に豊かになりました。日本人はその勤勉さを武器に、「エコノミックアニマル」と呼ばれるほどに働きました。1968年、ついに日本はGNP世界第二位となり、自他ともに経済大国になったのでした。この経済的繁栄のもとで、文化の領域では次々とアヴァンギャルドが登場し、また、シリアスな表現探求の幅も広がりました。なかでも、それまで芸術表現として正当な地位を与えられなかったポピュラー音楽、映画、漫画にビートルズ、ゴダール、つげ義春などと優れた表現者が次々と登場し、画期的な作品が次々に発表されました。これらを支持したのは既成文化に失望し、苛立っていた若者でした。1960年代末の新たな表現は既存の文化体系を激しく揺さぶり、根底的な異議申し立てへと突き進みました。彼らはただ自身の表現手段ばかりか、路上や街頭においても過激に活動を繰り広げました。これは全世界で同時多発的に起こったことでした。ここからやがて、新たな価値創造への路が切り開かれますが、それに至る芽が吹き出す時代だったのです。この時代精神を一身に身にまとったポスターたちをご覧ください。



折橋正一 香林坊1 1975

### 関連行事

#### 金沢のカルチャー・シーンを語る (3) 映画

映画に限りない愛を注ぎ続けたお二人に、金沢の映画が熱かった時代を語っていただき、これからの映画を考える糧としたいと存じます。

8月19日(土) 午後1時より

清水周一「金沢・映画裏事情」

(元グランド劇場支配人)

9月2日(土) 午後1時より

寺尾健一「金沢映画祭創成期」

(金沢大学非常勤講師)



山鬼文庫は浅野川沿いの静かなブックカフェです。階上は所蔵品を中心に企画展を開催しています。